

令和4年度第5回中仙地域協議会会議録

令和5年3月16日

中仙地域協議会

令和4年度第5回中仙地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	2
■報告	3
(1) 道の駅なかせん拠点構想について	3
(2) 令和4年度地域枠予算活用事業について	3
(3) 中仙支所各課所管の事務事業等について	5
■その他	6
(1) 大仙市東部エリア観光ビジョンについて	6
■閉会	7
■署名	8

■開催日時：令和5年3月16日（木曜日）午後2時

■開催場所：中仙支所2階 第21会議室

■出席委員：12名

伊藤 悟、遠藤 まき、熊谷 壽男、小松 京子、今野 貴美子、
佐川 晃、高橋 和政、高橋 強、高橋 朝夫、田口 馨、
傳農 百合子、三浦 和則

■欠席委員：2名

小松 正樹、高橋 和美、畠本 きよ

■出席職員：10名

田畑 睦子（中仙支所長兼地域活性化推進室長） 鈴木 真紀子（市民サービス課長）
藤原 喜文（農林建設課長） 高橋 宏範（農林建設課参事）
高橋 千秋（中仙公民館長） 佐々木 秀子（中仙公民館参事）
山崎 兼人（観光振興課長） 鈴木 一徳（観光振興課主査）
長谷川 祐城（地域活性化推進室副主幹） 門脇 友梨華（地域活性化推進室主事）

■次第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 報告
 - (1) 道の駅なかせん拠点構想について
 - (2) 令和4年度地域枠予算活用事業について
 - (3) 中仙支所各課所管の事務事業等について
- 7 その他
 - (1) 大仙市東部エリア観光ビジョンについて
- 8 閉 会

(午後 2 時 0 0 分 開会)

○事務局 (地域活性化推進室) 開会を宣言

○高橋朝夫中仙地域協議会長 (以下「会長」と表記)

この春先、雪消えとなって皆さん屋敷の掃除やらなにやらでお忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。今回今日の最初にある拠点構想にある拠点構想推進委員として当協議会から遠藤まきさんに行っていていただいておりますが、だいぶこの後お話あると思いますがだいぶ活発な意見を交わして下さったようです。我々も道の駅の拠点構想ということでここでも話し合いをしてまいりましたが、我々の意見も取り入れられて見通しが良くなってきたのかなと思っているところでほっとしております。まずこれからまだまだ続くとは思いますが、道の駅がもっともっと良くなってお客さんにたくさん訪れていただける道の駅になってほしいと思います。中仙地区に関しましても、我々は任期で協議委員を辞めることにはなりますが、この後も 1 期目の方々が引きついで、また新たに委員になられた方と一緒に盛り上げていただければなと思います。私ももう少しで 73 歳になり、段々頭の中が固くなってきております。良い発想がなかなか出てこない可能性があり、また若い方にも力になっていただき、中仙をより良くしていただければなと思います。そういったことを諸々考えながら今日の会議を進めてまいりたいと思います。どうかよろしく願います。

○田畑支所長 (以下「支所長」と表記)

本日は、年度末のお忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

委員の皆様には、市民と行政の協働のまちづくりの推進の中心的役割として、日頃より貴重なご意見をいただいております。改めて御礼申し上げます。

この場をお借りしまして、市の諸般の状況についてご報告いたします。

初めに、これまで会議の都度お願いして参りました、マイナンバーカードについては、2 月末現在の太田市の申請率は 83% となっております。カードを使った新しい試みとして、今年の大曲の花火観覧席の市民優先予約ができるようになるなど、ますます利便性も向上していきますので、まだお持ちでないご家族やお知り合いの方がおりましたらお声がけしていただくなど、引き続きご協力をお願いいたします。

次に、コロナ関連であります。5 月 8 日からコロナ感染症の分類が引き下げられることになっておりますが、国では予防接種については、公費負担による接種が継続されることになっており、市としても市民が不安を感じることがないように、国や県の施策等を注視し、適切な対応を行ってまいります。

学校編成についてですけれども、今議会の定例会議中で一般質問に対する答弁ですけれども、学校編成について教育委員会の中に中仙、太田の学校編成庁内検討会議というものを設置しております。中仙と太田の今後の学校編成について検討を重ねているところです。今年度は教育委員会としての学校の大きさと規模、形態について調査、研究をしております。来年度以降市長部局も含めた職員を設置しまして検討したうえで地域住民に方向性を示していきたいということで来年、再来年となりますが、住民説明会が開催されますので、その際

はよろしくお願ひいたします。

さて、本日は、拠点構想の実績と新たな動き、令和4年度の地域予算事業と、各課より事業の進捗状況などについての報告、そして最後に、観光振興課より「東部エリア観光ビジョンについて」説明させていただき予定となっておりますので、ご意見頂戴したいと存じます。

最後になりますが、3月31日をもって地域協議会委員が改選となり、11名の方が委員を辞職されます。これまで地域のためご尽力いただきまして、心より感謝申し上げます。また、引き続きお引き受けいただきます委員の皆様には、なお一層のご支援をお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

○会長　それでは次第4の「会議録署名委員の指名」に入ります。中仙地域協議会運営規程第7条第2項により、議長が指名することとなっております。今回は佐川晃委員、高橋和政委員にお願ひいたします。

それでは次第5「報告」に入ります。「(1)道の駅なかせん拠点構想について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

資料に基づき説明

○佐川晃委員　道の駅の利用者が2割ほど増えたのはよいと思うが、実際の利用者数の具体的な数字は。

○事務局（地域活性化推進室）

令和4年度は終わっていないので確定の数字は教えられないものですが、令和3年度が11万人と報告されていますので、その2割増ということであればおそらく13万人ほどと想定されます。

○佐川晃委員　コロナ前の数字はわかりますか。

○事務局（地域活性化推進室）

令和元年度が14万5千人で、ここ10年くらいで一番大きかったのが平成27年になっておりまして、15万7千人となっております。

○会長　ありがとうございました。ほかにございませんか。大仙市の枝豆の生産量については太田が一番ということですが、物品販売だけでも中仙に限らなくてもいいのではありませんか。例えば十文字は増田からも野菜等を持っていますよね。どちらかというとな推進委員へ意見を出してほしいというお願ひになってしまうかもしれないが、そうすれば品

物が途切れないで続くのでないのかなと思います。

○佐川晃委員 十文字は果樹に特化していますから、中仙は枝豆だというのは、強みとして売り出していくのが良いと思う。弱みを補強するのは難しいと思うので、枝豆だというのは徹底的に伸ばしていくといいのでは。

○遠藤まき委員 先日推進委員会があり、この枝豆について質問しました。物産中仙に聞いたところ枝豆の需要はかなり多いそうです。ただし取り置きを頼む人もいるようで、補充が間に合わないのが買いに来た人が買えない状況もあるということでした。

○小松京子委員 生産者としては耳が痛い話です。枝豆の需要は多いが時期が決まっているので、売れば良いが、売れ残りも出る。朝採れで出しているが残るとただ売れませんでしたと下げられるだけなので、生産者としては値下げしてでも売り切れるようにしてほしいと思います。

○佐川晃委員 食品の売れ残りは難しい問題ではあるが、農家だけに負担を強いることがないような工夫して売るシステムが必要だと思います。

○高橋和政委員 枝豆集荷者は何人いて、組合等はないのか。

○小松京子委員 知り合いでやっている人はいるが組合はない。

○高橋和政委員 生産者だけの要望だけではなく、販売者も一緒になって考えなければならぬ問題ではないか。道の駅拠点構想というのは、ハード面の解決だけではなく、ソフトの問題解決もしなければならぬものであるから、現在道の駅に販売はすべて任せているものであるということあるけれど、問題解決していくには生産者側の要望もそうだが、販売側にも要望はあると思うので、お互いにすり合わせをしていくようにしてはどうか。

○小松京子委員 その通りだと思います。今も全体の顔合わせはない。

○会長 いずれこのように良い意見がたくさんでているのはとても良いことだと思います。いいと思うことを挙げていって、生産者、販売者、消費者が一番いいところはどこだろうということ話を話し合うにはまだまだ余地があると思いますので、推進委員会にぜひ挙げていただければと思います。

それではほかにご意見等ございますか。

(なし)

ないようですので、続いて「(2) 令和4年度地域枠予算活用事業について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

資料に基づき説明

○会長　ただいま事務局から説明がありました。これについて質問、意見ございましたらお願いします。ドンパンふるさと中仙会について、この会の幹事をやっている柿崎さんという方とお会いしまして、応援する会からこれから首都圏に行くという人達向けにこういう会があるんだということを知らせてほしいということでした。あちらも高齢化しているそうです。そもそもあることすら知らないという人がいて中々参加してもらえないということでした。県外に巣立っていく人に教える手立てはないものかと聞かれたものでした。

○佐川晃委員　市の広報を隅々まで見るような人であれば市の情報についても詳しいかもしれないが、見ていない人は全くわからないように、若い人が会に入ってくれないのは、周知が足りないからではないか。大勢に知らせる形ではわからないというのであれば個々に届けるようなやり方はできないか。

○支所長　高校生の進学先といった個人情報には市では把握できないものであるため、個々に対応するとするならば高校との連携が必要になります。市でできることとしては広報に折り込む中仙版のもので連絡するような形ならば対応可能と思われれます。

○遠藤まき委員　首都圏に出る出ないに関わらず、高校を卒業する子どもたち全体に向けて周知するならば、個人情報に関わらず周知することができるのではないのでしょうか。例えば卒業してすぐに県外に出る人以外にも数年後県外へ行く可能性もあるので別に個々に対応しなければならぬのではないのでしょうか。PTAでもいいし、学校でもいいので伝えていただければいいのではないのでしょうか。

○会長　ぜひPRのほうをお願いしたいと思います。ほかにご意見等ございませんでしょうか。

（なし）

ないということですので、「(2)令和4年度地域枠予算活用事業について」の報告を終わりました。「(3)中仙支所各課所管の事務事業等について」担当各課からご説明をお願いします。

○支所長

鈴木市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

藤原農林建設課課長（以下「農林建設課長」と表記）

高橋中仙公民館長（以下「中仙公民館長」と表記）

資料に基づき説明

○会長 ありがとうございます。ただいま各課から説明がありました。これについて質問、意見ございましたらお願いします。

(なし)

ないようですので、次第5終わらせていただきます。

次に次第6「その他」に移ります。本日は本庁から観光振興課が来られて説明があるようです。準備があるようですので、少しお待ちください。

お待たせいたしました。それでは観光振興課から「大仙市東部エリア観光ビジョン」についてご説明をお願いします。

○山崎観光振興課長（以下「観光振興課長」と表記）

資料に基づき説明

○会長 ありがとうございます。ただいま観光振興課長からご説明がありました。これについて質問、意見ございましたらお願いします。

○高橋和政委員 本市の強みの中で、国立公園とありますがどのようなスケジュールでどのような構想になっているかわかる範囲で教えていただきたいです。

○観光振興課長 環境省が主導して行われております。八幡平、太平山を含む秋田県全体をまとめて国定公園化しようという動きであります。昨年環境省の職員に来ていただいて、全国的に国定公園化を急ぐとのことでした。ただし真木真昼公園につきましてはいつ頃になるかというのはまだ決まっておられません。

○高橋和政委員 国定公園にしたときに大仙市にとってのメリットはあるんですか。

○観光振興課長 国定公園にする際の違いといいますと県が主導するか国が主導するかという違いがあります。人を呼びこむために国定公園というのは一つの呼び水になると思います。

○会長 ほかにございませんか。では私からよろしいでしょうか。大仙市東部エリアということでこの資料を見ると太田地区がメインになるように見受けられます。東部エリアということは中仙、仙北地域も入ることですよね。実は私今日の会議の事前打ち合わせということで、資料を先にもらいあらかじめ見ていたんですけれども、13ページの関連資源というところで、想定される観光地を挙げていただいており、八乙女山も入れてもらっているなと思ったんですが、飲食のところなどは中仙地域や仙北地域はほとんど入っていないんじゃないかと思ったんですね。イベントや文化施設などにはバランスよく配置されて

いるんですが、距離的には東部はそんなに遠いわけではないし、まして東部エリアとうたうのならばバランスよく配置してもらったほうが良いのかなと思ってもしよければ中仙、仙北の地域振興担当も意見を言えるような、また協議に参加できるような体制にしていただければと思いますがいかがでしょうか。

○観光振興課長 おっしゃる通りでして、私たちも地域すべてに詳しいとはなりませんので、例えば地域活性化推進室であるとか観光担当と連携していきたいと思えます。

○会長 やはり各支所の地域振興担当がそういったことについては一番詳しいのではないかなと思いますので、どうか連携して進めていってほしいと思えます。ほかにございせんか。皆さんは初めて見るでしょうから今すぐに意見を言うのは難しいかもしれませんが、非常にいいことだなと思って拝見しました。今すぐでなくてもまた後で見たときにご意見等あれば支所長や活性化推進室にご提案いただければと思えます。よろしいでしょうか。
(異議なし)

それではこれで「大仙市東部エリア観光ビジョン」について終わりたいと思えます。次にここには書いておりませんが、支所側から中仙地域のPR動画ができたようなので、田畑支所長からご説明をお願いします。

○支所長 中仙支所地域活性化推進室では、令和3年度から2年かけて地域の行事や自然の風景などの映像を撮影し、このたび中仙地域のPR動画を制作いたしました。今後インターネット上での公開や地域イベントでの上映など、様々な場面で活用してまいりたいと考えておりますが、公開に先立ちまして委員の皆さまにご覧いただきたいと思えます。準備が整いますまで少しお待ちください。

(映像視聴)

○会長 すばらしい映像を見せていただきました。この映像についてご意見やご感想などございましたらお願いします。

○高橋和政委員 この映像をもらうことはできないですか。ほかの人にも見せたい。

○会長 この映像インターネット上に公開するというだけでいつでも見られるでしょうし、イベントの際には映像を流すということでしたからもしどうしても欲しいという場合は支所長に個別交渉していただければと思えます。ほかにもその他ということ委員の皆さんや職員の方で何かございせんか。

(なし)

ないようですので、次第6を終わらせていただきます。

以上で、本日予定されておりました案件等の審議は終了となります。これを持ちまして

令和4年度の第5回地域協議会を終了したいと思います。

皆様お疲れさまでした。

(午後3時50分 閉会)

中仙地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員
